

戸田康之さん『大雪』（5月16日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日のテーマは、大雪の時に経験したことです。

今年はいつもの年よりも雪がすごく降りましたよね。大雪で積雪がすごかったというニュースが何回もありました。私もその大雪を体験したんです。

毎年家族で、大晦日から元旦にかけての年末年始、毎年必ずスキーに行きます。群馬県の万座温泉にスキー場があって、毎年家族みんなで大晦日に出かけるんです。

夜に出発します。朝に出ると渋滞に巻き込まれるので、12月30日の夜に車で自宅を出ます。家族はみんな寝ているなか運転していきます。夜中の2時とか3時くらいにスキー場に到着し、駐車場に車を泊して、夜が明けたらスキーを楽しむ、というのが毎年恒例です。

今年も同じように12月30日の夜に準備をし、スキー用具やウェアを車に積み込んで、出発しました。夜の11時、12時くらいだったでしょうか。家族は寝ており、私が運転します。いつもであれば、スキー場までの道はそんなに雪はありません。難なく運転できます。高速を降りた後の市街地に雪は降りませんし、山道も積雪はほんの少し。スキー場に近づくにつれて積もってはきますがスタッドレスタイヤをはいているので運転には支障ありません。いつも問題なく運転できているのですが、今年はすごかったんです。

家を出て高速に乗り、降りてからがもう大雪でした。すごい雪だなと思いましたが、道路はまだ大丈夫でした。大雪が降る中を運転し続け山道に差し掛かるとますます雪がひどくなり、不安になってきました。今までこんなことはなく毎年ふつうに運転できていたのに、今年は大雪で、しかも真っ暗です。他の車も通りません。真っ暗な夜中の2時3時、だれも通らない道路にうちの車だけ。しかも道は曲がりくねっています。大雪の中慎重に運転していましたが、雪は道路にどんどん積もっていきます。自分たちの前に車が通ったタイヤの跡がも、最初は見えていたのでなぞって走っていましたが、雪が積もってきてその轍も見えなくなり一面真っ白。どこが道路かもわからなくなってきました。さらにはタイヤもスリップし始めました。山道ですから、道を踏み外したらいっかんの終わりです。恐ろしくなってもうこれ以上は走れないと思い、スキー場まで行くのをやめて山道の途中で路肩に停めました。周囲は真っ暗で何も見えず、街灯もありません。本当に怖かったです。時間は夜中の3時、自分たちは大丈夫なのか、家族もろとも死んでしまうのではないかと、眠れない時間を過ごしました。

1時間くらい待ちましたが、まだ雪は降り続けていてどうしようもありません。その時、光が眩しく差し込んできました。光の方を見ると、除雪車です！車の前に大きなシャベルがついていて黄色いパトランプを光らせながら近づいてきました。除雪車が来た！と嬉しくなり、しかも道路の雪をかき分けながらゆっくり走っていました。もう本当に嬉しくて、この除雪車と一緒に走ろうと、除雪車の後について山道を走っていくことができました。

もしあの除雪車が来なかったらずっと車にいなければならなかったところを、除雪車が来てくれたおかげで、後を走ってスキー場の近くまで行くことができ、本当にホッとしました。

朝の4時5時くらいに太陽が昇り始めたのですが、駐車場に入ることができません。雪がすごく積もっていたんです。しょうがないので、車を降り、雪かきを始めました。やってみると雪がすごく軽かったんです。さらさらの水分の少ない雪でふわふわしていました。雪は重くて雪かきにも力があるものだと思っていましたが全くそんなことはなく、軽いのでどんどん雪をどけて、やっと車

を停めることができました。少し仮眠をとり、朝8時くらいになってから周囲を見回すと、駐車場はガラガラ。大雪でお客さんがほとんど来ていなかったんです。雪も積もっていて、スキーには最高でした。子どもたちは大喜びでウェアに着替えて車を降り、積もった雪を丸めようとしたのですが形になりません。いくら強く丸めてもバラバラになってしまいます。子どもたちは今まで雪は固められる雪ばかりでしたが、こんなさらさらのパウダースノーを触るのは初めての経験で、雪だるまも雪合戦もできないほどなんだということを知りました。ですが、スキーには最高の雪質で、誰もいないスキー場で思いっきりスキーを楽しみました。

ただ、もう大雪は勘弁してほしいです。来年はほどほどの雪がいいですね。